

ティンダハン

○ 原題 : Tindahan

○ 作者 : Peer Sylvester (ペール・シルヴェスター)

フィリピンのフルーツの屋台をモチーフにしたカードゲームです。「ティンダハン」とは、フィリピンの公用語であるタガログ語で「屋台」という意味です。

最初に、それぞれがフルーツカード 10 枚と店員コマ 9 個を受け取ります。テーブルの真ん中に屋台カード 5 枚を置きます。

1 ゲームは何ラウンドかにわたって行います。各ラウンドでは、全員が「カードを 1 枚出す」か「コマを屋台に 1 個出す」かを 1 回ずつ、一周行います。目的は、「強いカードを出してラウンドに勝利し、2 点取る事」と「(ゲーム終了時の得点のため)各フルーツの屋台に店員コマをたくさん出すこと」です。店員コマを置けるのは、各ラウンドの最初に出されたカードのフルーツに対応する屋台だけです。自分の番にはどちらかしかできないため、カードの勝負で点を狙うか、屋台で狙うか、バランスが大いに考えどころです。

誰かのカードがなくなったらゲーム終了です。屋台ごとに、一番多く店員コマを置いていたプレイヤーは 5 点、2 位のプレイヤーは 2 点もらえます。ゲーム終了時に手元に残ったカードは、1 枚につきマイナス 1 点です。最終得点が一番大きいプレイヤーの勝ちです。

カードの出し方のルールは「トリックテイキング」という伝統的なゲーム形式によっており、カードの強弱が頻繁に変化します。さらに、カードを出さずにコマを出すという驚きの選択肢がある事で、トリックテイキングと陣取りを組み合わせ、全く新しいゲームに生まれ変わっています。気鋭のイラストレーター、ママダユースケによる色とりどりのフルーツカードもゲームの魅力を引き出しています。

BOX size S



←95mm→

イラスト：ママダユースケ



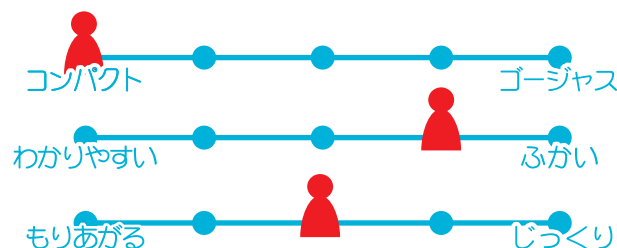
9才~
対象年齢



3~5人用
遊べる人数



30分
時間



ちよつと良い



フルーツみたいなゲームです。

詳しいルールはこちらから

<http://www.newgamesorder.jp/games/tindahan>

トリックテイキングという種類のカードゲームのジャンルがあるということは僕も最近知りました。最初は独特なカードの出し方の決まり（最初の人バナナを出していたら、持っている限りはバナナを出さなきゃいけないとか）にちょっと戸惑って、勝ち方のコツがわからなかったんですが、ちょっと慣れてくると、急に面白くなってきました。他の種類のトリックテイキングもやってみようかなーと思ってます。